

## 関係機関における総合的な支援検討WGの活動について

### 1 WG設置の目的及び協議事項

平成 29 年 4 月に策定した「第 2 次札幌市児童相談体制強化プラン」の取組として、平成 30 年 3 月に開発を行った新たなアセスメントツールについて、本格運用後の活用状況の検証及び必要に応じた見直しを行う。

具体的な協議事項は下記のとおり。

- (1) 在宅支援アセスメントシートの活用状況及び要保護児童対策地域協議会（以下「要対協」という。）の個別ケース検討会議の運用状況等に関する検証を行う。
- (2) 在宅支援アセスメントシート及び児童虐待防止ハンドブック等の内容の見直しが必要な場合は、見直しの内容について検討を行う。

### 2 WGの構成員

- (1) 子ども・子育て会議委員（臨時委員を含む）：7名 ※開発時と同様

職名	氏名	所属
委員（部会長）	松本 伊智朗	北海道大学大学院 教育学研究院 教授
委員	水岡 路代	札幌市私立保育園連盟 副会長
委員	若松 尚代	札幌市中学校長会 会計
臨時委員	大場 信一	社会福祉法人北翔会 総合施設長
臨時委員	加藤 曜子	流通科学大学 人間社会学部 教授
臨時委員	澤田 いずみ	札幌医科大学 保健医療学部 准教授
臨時委員	横山 登志子	札幌学院大学 人文学部 教授

- (2) 本市構成員・事務局：14名

医師職（2名）、保健所・保健センター関係職員（5名）、児童相談所職員（7名）

### 3 活動実績

- (1) WG会議

	開催日	議事
第 1 回	平成 30 年 12 月 21 日	アセスメントツールの本格運用後の検証について
第 2 回	平成 31 年 1 月 17 日	アセスメントツールの見直しについて

- (2) アセスメントツールの活用に関する調査

WG会議の開催に先立ち、アセスメントツールの活用状況、活用による効果・課題及び改善が必要な点等を把握するため、以下のとおり調査を実施した。

#### ア 調査対象

- ・ 保育所（札幌市私立保育園連盟加入園、市営保育所）、幼稚園（市立）
- ・ 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（市立）
- ・ 要対協実務者会議関係機関（SSW、警察署、区保護課）
- ・ 児童家庭支援センター、児童養護施設、乳児院
- ・ 区健康・子ども課、児童相談所

## イ 調査方式

無記名調査票方式により実施。なお、関係機関には任意のアンケート調査として実施したところ、約 220 機関からの御回答をいただいた。

## ウ 調査結果の概要

- ・児童虐待防止ハンドブックについては、コンパクトにまとまっていて使いやすく、わかりやすいという意見が多く寄せられた。  
また、図表の追加及び専門用語に関する説明の追記等について要望があった。
- ・在宅支援アセスメントシートは、世帯の状態像がわかりやすくなるなど、シートの活用による効果が挙げられていた一方で、シートの記載項目の改善要望や、シートを活用した会議運営に関する課題等が挙げられた。
- ・児童虐待防止ハンドブックの配布対象の拡大、配布部数の追加、継続的な周知の実施、市公式ホームページへの掲載やハンドブックの活用等による関係機関向け研修の充実等について、多くの意見や要望が寄せられた。

## 4 WG会議における成果物について

調査結果を踏まえて議論を行い、在宅支援アセスメントシートの内容を改善するとともに、児童虐待防止ハンドブックの加除修正等を行った。

(主な改善点)

- ・在宅支援アセスメントシートについて、シートの左面と右面の連動や会議における検討順序を考慮したレイアウトにすることで、世帯の状態像に応じた支援策の検討が行いやすくなるように改善した。
- ・児童虐待防止ハンドブックについて、脚注等による説明の追加、要対協の個別ケース検討会議に関する説明の充実、在宅支援に関する記述の追加及び在宅支援アセスメントシートの解説の追加等を実施。

※児童虐待ハンドブック（改訂案）は資料 2－2 のとおり。

## 5 今後について

### (1) 各成果物の活用及び配布について

在宅支援アセスメントシートについては、要対協の個別ケース検討会議並びに児童相談所及び各区健康・子ども課内での援助方針会議等において、引き続き広く活用を進めていく。

また、児童虐待防止ハンドブックについては、すみやかに印刷・製本を行い、3 月後半より、関係機関及び札幌市関係部局への改訂版の配布を開始する予定。今年度に引き続き、関係機関が集まる機会を捉えて周知・研修を行うとともに、札幌市公式ホームページへの掲載等も行うことにより、広く周知を進めていく。

### (2) WGの活動について

活用状況等の検証及び各成果物の見直しが完了したため、第 2 回 WG 会議をもって WG 会議の活動を終了とする。